

日中学院校友会主催  
日中国交正常化 50 周年記念講演会

撫順の奇蹟—親子二代にわたる元戦犯との  
交流を通して—

講師 金 勝光

開催日時 2022年12月17日(土)13時~15時

金勝光さんは幼少のころより自宅の窓から「撫順戦犯管理所」の高さ 7m を超える灰色壁を見つめてきた記憶が残っています。この壁の中は父母が 30 年間働いてきた職場でした。

金勝光さんの父親である金源氏は、戦犯管理所の所長を務めた人で、B.ベルトルッチ監督の映画『ラストエンペラー』にも登場し、日本人戦犯との関わりの中で激動の中国現代史を体験された数少ない人物です。



「撫順戦犯管理所」は、1950年に日本人戦犯約 1,000 人を収容し、戦犯に更生教育を施しました。「鬼から人間」への教育は、日本人戦犯の「認罪」と中国人職員の「憎悪」を克服したことから「撫順の奇蹟」といわれています。

1956年、中国政府の寛大政策により日本人戦犯の多くは帰国しました。その後、日中友好と反戦、加害者としての証言活動をするために「中国帰還者連絡会」(略称中帰連)を組織し、金源氏らと数多くの交流を行なってきました。金勝光さんはそのような父の背中を見て育ち、1987年に中帰連の会員が身元保証人になり、人生を変える大きな端緒となった日本留学を果たし、日中学院で日本語を学びました。現在はIT会社の社長として活躍されています。

親子二代にわたる元戦犯との貴重な交流、父親の戦犯管理所での仕事、溥儀(「満州国」皇帝)とのエピソード、金勝光さんご自身の体験などを語っていただきます。

どなたでもお申込みできます。皆様のご参加をお待ちしております。

場所：日中学院 302・303 教室

会費：無料

お申込み：学院窓口・電話・メール

連絡先：TEL 03-3814-3591

E-mail [info@rizhong.org](mailto:info@rizhong.org)



金源(左)、溥儀(右)の両氏